わっかない 市議会だより

第14号
昭和55年11月1日
発行
稚内市議会事務局
編集
稚内市議会だより編集委員会

10月22日改修の完成をみた防波堤ドーム

9月定例会の審査日程

9月3日（水曜日）本会議
一、会期の決定
一、市長の行政報告
一、一般会計補正予算第3号（予算委員会付託）
一、条例の一部改正案5件（条例委員会付託）

9月8日（月曜日）本会議
一、市政に関する一般質問
●日本共産党（高橋　忠）
●日本社会党（栗田みどり）
●市政クラブ（太田外政）

9月9日（火曜日）本会議
一、市政に関する一般質問
●自由クラブ（河野至緒）
●公　明　党（長野　博）
一、一般会計補正予算第4号（予算委員会付託）

9月13日（土曜日）本会議
一、予算、条例の各委員長の報告
一、補助団体監査と例月出納検査の結果報告
一、各行政委員会委員の任命や選任、推せんに関する人事議案6件
一、病院・水道事業会計の決算（決算委員会付託）

4日から7日議案精査休会
10日から12日予算、条例委

一般質問から

9月定例会

9月定例会は、9月3日から13日まで会期を11日間と決めたあと、市長は、

①石炭液化の問題
②簡易保養センターの誘致の状況
③樺太墓参と友好親善について
④稚内夏期大学講座の開設
⑤水族館のパノラマ水槽破損事故の経過説明
⑥利礼両島との経済、文化、教育交流の延期について
⑦第4次空港整備5カ年計画について

等々の行政報告を行ないました。

2日間にわたって行なわれた一般質問では、市立病院の建設見通しや物価対策、東圧ピートケミカル社の進出状況、生活環境基盤の整備、保養センターの運営等々について質しました。

本会議の最終日では、社会党、共産党共同提出の金大中氏ら救出の緊急措置を要望する決議は、賛成少数で否決されました。

9月定例会

東中学校の教室不足に対する将来計画はどうか

（共産党）

質問 東中学校の教室の増改築について、過日新聞報道があったが、たしかに東地区における人口は年々、少数づつではあるが増えているようである。当然このことは児童の増加にもつながっているので、現在の教室では、すでにもう不足をきたしているようであるが、この点について将来計画をどのように考えているか。

答弁 本市における人口の増え方は、南地区と東地区に著じるしいものがあるので、東中学校の教室不足は事実である。

教育委員会には、新設校を前提にして検討すべきであるということの指示はしている。

当面の対策としては、特別教室を3教室と特殊教室というものを含めて考えたい。

今後においては、人口の推移等を考慮しながら、新設校にするかどうかを決断したい。

狭隘をつげる東中学校

旧米軍兵舎の撤去と道道並びに排水溝の整備は

（共産党）

質問 ノシャップ周辺の利用開発や温泉地域が振興しつつある過程で、旧米軍兵舎の撤去を基地周辺整備事業費によって行なうべき時期と思うがその考えはないか。

また、温泉に通じる道道と排水の整備を早急に行なうよう、道に働きかける考えはないか。

答弁 旧米軍兵舎の建物については、国の責任でこれを取り壊して、別な態勢を作ってもらいたいということで要請しているが、国も現在立案中のようであるので、近く結論が出ると思う。

温泉開発の整備は、今後も続けていきたいが、道道の拡幅や側溝の整備、歩道の設置も考えたり、トンネルもこれと平行して考えられるべきと思うので、これらの促進を図っていきたい。

市立病院の改築計画と薬剤投与の待ち時間の工夫

（共産党）

質問 地域住民の期待が非常に大きい市立病院の改築は、どのようになっているのか。

また、列車で通院する患者や老人の通院者に対する薬の受取りに関して、その配慮と工夫によって改善ができないものか。

答弁 市立病院の建設については、候補地としては、二、三あるがいずれも交通の利便さや立地条件からいくと、二の足を踏まざるを得ない状況にあるが、この議会が終了後、早急に委員会を開き検討してもらいたい。

外来者の投薬時間の短縮については、いたずらに待合室で待たせるということでない方法の検討はさせたい。

灯油、プロパンガス価格に対する市長の働きかけ

（社会党）

質問 灯油の需要期を迎えて、量の確保については、いまのところ問題はないようであるが、価格については依然として高値安定であることは、納得できない。

また、このことはプロパンガスについても例外ではない。

市長は、関係当局に対して積極的な働きかけを行なうなどすべきと思うが、今後の考え方を伺いたい。

答弁 道内の灯油の需要量は、前年度に比較して7%の増であるが、需要期に若干の値上げがあるのではないかと思う。

市としても不当な値上げについては、監視をしていきたいし、全道市長会としても、通産省や経済企画庁、元売り業界に対しても、強い要請をしていくつもりである。

無料招待温泉バスと国際障害者年の宣言について

（社会党）

質問 ❶現在、65歳以上の老人に、温泉の無料入浴券を支給していることは喜ばしいことであるが、さらに一歩進めて敬老の日にバス代を無料にして招待することを考慮され、来年度から実施する考えはないか。

❷明年は国際障害者年にあたるが、これを記念して「福祉都市宣言」の年にすることについての市長の考えは。

答弁 ❶バスを借切っての招待ということについては、それぞれの都合もあるので調整を図らなければできないと思うが、各町内会ごとの温泉行きということは、歓迎をしたい。

❷福祉の後退が懸念される国の施策の中で、本市が福祉都市の宣言をしてみても、実が伴わないと思うので、しばらくの間は市のでき得ることをやりながら、将来的には福祉の充実をはかりながら、福祉都市の宣言も合わせて考えていきたい。

リン含有の合成洗剤の追放は急がれるがどうか

（社会党）

質問 道では4月1日から合成洗剤に含まれるリンの追放を締め出す要綱を発表したが、3月と6月議会の時点ではリン汚染の調査はしていないようであるが、その後調査を行なったことがあるか。

本市は、沿岸の増養殖事業に力を入れている実態からも、この追放は急がれると思うが、市長の考えはどうか。

答弁 リンを含む合成洗剤の使用は、市の施設については禁止をしている。

道では主な河川や湖沼について実施をしているようである。本市も必要によっては、その調査を道に要請したい。

市の公害課では、年に2回ほど水質の検査を行なっているようであるが、6月の測定では、基準値を下回っているようである。今後においても、水質検査は続けていきたい。

市長が考えられている行政機構改革とは何か

（市政ク）

質問 いま多様化している住民の要求に的確に応えていくためには、行政に対する創意工夫であり、その運営の妙を図ってこそ合理的な機構と言えるが、市長は基本構想の中でも、職員の全てが専門的能力を高め、行政に対する工夫が要求されると唱われていますが、いま考えられている機構改革は等どのようなものであろうか。

答弁 わが国が高度成長下にあった時は、国からの予算も大幅にあったため、自治体行政もある程度それに合わせた面もあったが、低成長を続ける中にあっては、今度は財源と事業の関係で、将来展望に立って機構を見直す必要がある。

いま考えているのは、機構を縮小して小数精鋭の形での改革であり、住民のニーズに応える形で対応したい。

東圧ピートケミカル社の進出状況はどうであるか

（市政ク）

質問 200カイリ影響後の本市において、何か新

金大中氏ら救出の緊急措置を要望する決議（賛成少数で否決）

韓国の元大統領候補である金大中氏らが、同国戒厳令によって軍法会議に送致されて以来、国際的に金大中氏らの救援の動きが高まっている。

しかるに、先の日韓首相、外相会談においては、日本政府側は韓国政府に対して注意を喚起したにとどまったようであり、これだけでは金大中氏らの生命の安全確保と民主化促進を求めるという政治的責任を十分に果しているとは言い難い。

現在の韓国政府の姿勢は、民主化政策に逆行するものであり、人道的にも許されない事態である。

よって、日本政府及び関係機関は、韓国政府に対し金大中氏らの即時釈放と民主化に向って、その措置を求めるよう、要望する。

しい息吹きを求める声が産業界からもあるが、そのひとつとして東圧ピートケミカル工場進出が計画されているようであるが、この進出にあたって公害の面やその建設予定はどの方面を考えられているか。

答弁 この件については、昨年東圧ピートケミサル社が、稚内にある低位泥炭の研究をしてみたいということが、その発端である。

当初の予定は声問地区であったが、そこは将来は工場誘致地帯でもあるので、恵北と樺岡の中間地点に移ってもらった。

当面は小規模段階での調査研究のようであるが、将来を期待したいところである。

身体障害者福祉大会とスポーツ大会誘致の考えは

（市政ク）

質問 民間組織の社会福祉協議会も行政と呼応しながら、その充実に努力されているが、明年は身体障害者福祉協会が結成され30年に当るが、これを記念して本市において身体障害者福祉大会並びにスポーツ大会を誘致したいものと支部役員は考えているが、市長はどのように考えているか。

答弁 この件については初耳である。本市におけるこのような大会は大いに歓迎したいし、これに対する協力は惜しまない。

視聴覚教室の充実の考えと大学誘致の青写真は

（自由ク）

質問 ここ数年来、本市における小中学校校舎の増改築による教育施設の改善には、顕著なものがあり、喜ばしいことである。

北方圏都市の拠点づくりにふさわしい環境づくりのため、理科教室や視聴覚教室の充実をはかるなど、今後の文教対策をどのように推し進めようとするのか。

また、大学誘致に関しての青写真はどのようなものであるか。

答弁 小中学校の教育施設の面は、充実はされているものと思うが、今後においても教育環境づくりに対する努力は惜しまないつもりでいる。

大学誘致の件については、具体的なものはまだ出ていないが、期成会も設立されているので、本格的な取組みについて対応してまいりたい。

市営住宅建設の積極姿勢と声問地区の開発計画は

（自由ク）

質問 ❶今年度建設中の市営住宅は、その立地的条件からすでに5倍を超す申し込みがあるようである。こうした状況をみるとき、今後も積極的に市営住宅の建設に踏み切るべきと思うがどうか。

❷声問地区の開発計画は、本市の発展的過程からいって避けられないと思うが、今後どのような利用計画をもたれているか。

答弁 ❶市営住宅の建設にあたっては、今後とも都市改造を進めながら、また持ち家と公営住宅の入居者に関するデーターを集め、必要に応じて継続をしていきたい。

❷声問地区は、これからの開発計画と合体させ、空地の高度利用を考えていきたい。

声問地区が工業化されるとするならば、そこと港を結ぶ道路も新たな問題として考えていかなければならない。

宗谷広域圏としての近隣町村との連けい強化は

（自由ク）

質問 この度、自治省の広域振興計画に基づき、文化会館の建設補助が決定したことは、大変結構なことであるが、このほかにも地域センター病院の設立、大学誘致やエネルギー開発、あるいは酪農基地の建設等、多くの分野において広域的かつ総合的な対策が求められるプロジェクトが山積しているが、本市が宗谷圏の中核都市として果す役割りは大きく、常に積極的に近隣町村と話し合いの場をもって、これの推進に当らなければならないと思うが、この件に関する今後の取り組みを伺いたい。

答弁 今回、文化会館の建設補助が決定したことは、広域行政を推し進めていく上にもいい機会でもあると思うので、ただいまご指摘のありましたほかにも、近隣町村と提けいをしながら推し進めていく事業もあるので、今後においては、より緊密な連絡をとりながらやってまいりたい。

波功まちかい市営住宅

本市の財政運営の今後についてどう考えるか

（公明党）

質問 国の財政が赤字

一般質問から

建て直しの国債の発行であるため、地方自治体にもそのしわ寄せが波及し、財政的にも厳しいものがあるが、本市の自主財源である市税、その他のものが予算に占める比率は34％程度である。こうした中にあって不況地域指定も今年度限りのことを考えると、今後の財政運営に不安を感じるが、市長の考えを伺いたい。

答弁 今後の地方財政は大変厳しい時代が来ることを想定して、公共施設の建設をしていかなければならないと思う。

起債の償還にしても、これからやらなければならない事業を考えると、ここ一、二年は持ちこたえられても、以後は財政危機に陥るかもしれない。

今後の財政運営については、慎重にして積極的な検討と公共事業費の伸びをもたらしながらやっていかないと、稚内市の企業が労働力を吸収できないということになると大変なので、国との結びつきを考慮しながら、地域産業の振興を図っていきたい。

ドーム防波堤の内部利用と高速連絡船の計画は

（公明党）

質問 ❶北埠頭にあるドーム型防波堤は、今秋完成の予定であるが、先の議会において、ドームの内側に壁画を描かれてはどうかとの提案もあったが、この件は一考を要するものと思うがどうか。

また、あの周辺はどのように利用するつもりであるか。

❷利礼両島と結ぶ高速船の運航については、両島民からもその要望は高いし、市長の基本構想の中にも高速船の活用が唱われているが、その後、この計画はどのように進んでいるか。

答弁 ❶ドームの壁画については、国とも協議をしていかなければならないし、今後の維持管理のこともあるので、この実現には大変むずかしいものはあるが、今後の研究課題にしていきたい。

ドームが完成したら、稚内公園との結びつきを考えた態勢をとりたい。

❷利礼両島との高速連絡船は、実現可能なものとしては300トン位の国産のものでも可能と思うので、空港のジェット化の実現と合わせながら、その実現に向かって努力したい。

保養センター利用時間の一考と将来的湯量は

（公明党）

質問 市民温泉保養センターの営業時間は、平日は午後一時から、日曜日・祭日は午前11時からで、閉館時間はいずれも午後11時までのようであるが、開館時間を繰り上げることはできないか。

また、温泉の高度利用は大いに結構であるが、これから温泉周辺に建設される各施設に給湯するには、量的には大丈夫であるか。

答弁 現在この問題については、現行の体制を業務委託ということに移行させてもいいのではないかと思うので、今後検討して、全体利用の問題とサービスの向上に努めるようにしたい。

湯量については、一日におよそ60トン湧出しているが、これを二、三倍に稀釈して使用しているので、ここしばらくは賄っていけると思う。

竣功なったドーム

一般質問とは

議員が、その属する地方公共団の権限内の行政（一般事務）全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め又は疑問を質すことをいいます。

一般質問は定例会に限って許されますが、臨時会では一般的には許していません。

一般質問とは別に、緊急質問というのもありますが、これは定例会、臨時会を問わず、客観的に緊急性があれば認められます。

一般質問は、議員個々に与えられている権利ですが、近年の議会運営は会派構成で行なわれていますので、その会派に属する議員が一般質問を行なう時は、代表質問となる可能性が強いようです。

特別委員会から

予算特別委員会

本年度の一般会計補正予算第3号は、三億七八六七万九千円でその内容は、緊急止むを得ざる補正を行ったことと、同第4号の補正八千百三十万円の内容は、水族館の大回遊水槽の破損事故の修理費と土木建設事業の救済であるとの提案説明があり、**これを審査するため31人の委員で構成する予算特別委員会（委員長　山田機知郎）でその審議を行ないました。**

審査にはいる前に、同委員会は副委員長の互選を行ない、島脇政三委員が全会一致で選任されました。

以下、その質疑の概要について委員会報告書の中から抜すいしてみます。

総務部、財政部に関するものとして、

●宗谷支所屋根補修内容の件　●稚内郵便協力会補助金内容について　●土地交換と利用目的の説明について　●旧船員保険寮改修工事と管理運営について　●市立病院ボイラー補修と耐用度について　●夏期大学講座の趣旨徹底とPRの件　●映画製作委託内容と利用目的周知の件　●夏期大学講座受講料予算科目適正計上と件

福祉事務所に関するものとして

●各種団体の公用車使用に係る旅費負担　●温泉給湯管理運営所管の件　●市民温泉保養センター開館時間の検討について　●季節労務者雇用対策の見通しについて　●勤労青少年ホーム玄関改善の件　●高齢者事業団発足と将来の見通しについて

市民部に関するものとして

●患者移送取扱いの件　●ごみ分別収集の対応について　●漁民に対する保健指導とその実施計画の見通しについて　●婦人科検診対象者の増員検討について　●火葬場早期移転と設備改善の検討について

経済部、農業委員会に関するものとして

●ホタテ貝毒検査機関の地元設置要請について　●農家経営安定対策について　●水族館事故の事後処理と補償問題について　●岩倉組跡地に建設する畜産センターの運営内容について　●沼川地区団体営草地開発整備事業交付金の財源内訳について　●天北北部地域用地取得代替地測量委託料財源内訳の件　●氷雪の門慰霊祭執行内容の検討について　●観光物産まつり内容充実の件　●商工会議所移転に伴う産業会館条例適用と事務処理経過の件

建設部に関するものとして、

●請負工事の責任施行範囲とあと受け補償について　●百年記念塔外路灯設置見通しの件　●貯木場に流出する工場排水汚濁の抜本的解決策検討の件　●公営住宅建設に係る燃料集中化の検討について　●各種埋設工事に伴う関係団体の連絡緊密化の件　●下水道の一部供用対象範囲と水洗化切替えに係る事前PRの件　●裏山災害防止対策の件

教育委員会に関するものとして

●市内教員住宅不足に係る公営住宅入居の件　●エスキモー犬飼育と保存の件　●緑運動公園照明設置の見通しについて　●米飯給食実施の取り組みについて　●語学教育用機器設置のモデル教室検討の件等であり、

補正予算案第4号の主なる質疑については、

●水族館の亀水槽拡張と施設の設置見通しについて　●アクリル樹脂ガラスの耐用度の件

等々について質疑が行なわれ、採決の結果、いずれも全会一致で可決されました。

公害対策特別委員会

当委員会は、本市の公害に関する諸問題について現地視察を行ない、本市公害の実態について調査活動を行なっているところです。

今回は特に、予算特別委員会でも各委員から指摘され、問題となりました水面貯木場の海水汚濁により、木材に対する影響が著じるしいので、早急に調査を行ない、抜本対策について検討するよう、強く要望しました。

特別委員会から

条例特別委員会

この委員会は、本会議第一日目に同委員会に付託されました5件の条例の改正案について、**16人の委員で構成する条例特別委員会（委員長　小林侃四郎）で慎重に審査を行ない、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。**

以下、その質疑の概要について委員会報告の中から抜すいしてみます。

審査にはいる前に、同委員会は副委員長の互選を行ない、森三郎委員が全会一致で選任されました。

稚内市職員退職手当支給条例の一部改正案は、現下の地方財政の厳しい状況から、しかもかねてから自治省や道の行政指導もあって、勧奨を受けて退職する職員の退職手当の加算率について、職員組合との合意も得られたので、現行の支給額を年度ごとに段階的に引き下げるための改正案で、

●看護婦に対する当該条例適用について　●定年制度施行後の対応の件　●退職手当支給条例改正の基本的な考え方と経過措置について

等々の質疑が出されました。

稚内市火葬場条例の一部改正は、上勇知・勇知・富磯の各火葬場を廃止するもので、

●稚内市火葬場の移転見通しと早期建設について

等について質疑が出されました。

稚内市住宅管理条例の一部改正は、用途の廃止と55年度の新設に伴う料金設定の一部改正であり、

●福祉住宅の使用料について質疑が出されました。

稚内市スキー場施設条例の一部改正は、スキーリフトの機種取替えに伴う名称変更と料金の改正であり、

●スキーリフト利用券の共通利用の方法

等について質疑が出されました。

稚内市民温泉保養センター条例の一部改正は、公衆浴場料金の統制額の改正に伴う入浴料金の改正を行なうもので、

●富士見団地住民の保養センター利用に係る銭湯料金との相違の件

についてが質疑として出されました。

決算特別委員会

昭和54年度の病院事業会計と水道事業会計決算を審査するための決算特別委員会は、**最終日の本会議終了後、同委員会を開き、副委員長に小林侃四郎委員を全会一致で選任し、審査の日程や資料等々について協議を行ないました。**

この2会計の決算については、12月議会までに審査の結論を出すことになります。

委員は次の方々です。

委員長　橋本岩一
副委員長　小林侃四郎
委員　杉本鯉一
〃　栗田みどり
〃　岡谷繁勝
〃　大泉勝利
〃　葛西忠
〃　竹村海一
〃　小林貞利
〃　小川文三
〃　島脇政三
〃　水口勇三

サハリン州へ友好親善団

9月20日から25日まで、サハリン州友好親善、墓参団一行60名が、晴天に恵まれたフエリー岸壁をあとに、一路サハリン州へ出発しました。

当市議会からは、井田副議長と岩泉議員が派遣されました。

この親善、墓参団は、日本社会党北海道支部の主催により毎年行なわれているものです。

サハリン州へ出発

請願・陳情の受理状況

今期定例会で受理した陳情は、稚内東中学校父母と先生の会会長　佐藤幸平氏から提出された「稚内東中学校増築に関わる陳情について」は、東地区の富岡ニュータウン、はまなす地区等の人口増に伴い、生徒数も増加を続けている折、特別教室に不足を生じているので、早急に増築をされたいとの内容でありますが、本件については、明年度の二学期までに特別教室を四教室とトイレ一箇所を新設したいとの教育委員会の意向が示めされたため、議会運営委員会でその取扱いを協議したところ、陳情の願意が達成される見通しなので、その採否には触れず、議長処理扱いとすることが適当であるとの意見の一致をみました。

9月議会の提出議案とその結果

■……市長提案のとおり決ったもの……■

- 昭和55年度稚内市一般会計補正予算第３号、第４号
- 稚内市職員退職手当支給条例の一部改正
- 〃　火葬場条例の一部改正（上勇知、勇知、富磯を廃止）
- 〃　住宅管理条例の一部改正（市営住宅の一部について使用料の引上げ）
- 〃　スキー場施設条例の一部改正（リフト使用料の引上げ）
- 〃　市民温泉保養センター条例の一部改正（入浴料金の引上げ）

　……可決

- 町の区域の設定及び廃止（住居表示を実施するため町名の変更）
- 市道路線の認定（サラキトマナイ２本、ひばりヶ丘団地１本）
- 〃　変更（ひばりヶ丘団地４本）
- 工事請負契約の締結（北洋埠頭を3億4,500万で藤建設KKと）
- 財産の交換（国鉄と宅地の等価交換）

　……可決

- 専決処分（公共土木施設災害復旧費）……承認

■……任命及び選任に同意並びに推せんに決定したもの……■

- 教育委員会委員の任命（石塚宗博氏）
- 教育委員会委員の任命（佐藤利男氏）
- 公平委員会委員の選任（加世本孝氏）
- 固定資産評価審査委員会委員の選任（藤野喜一氏）

　……同意

- 人権擁護委員の候補者の推せん（鎌田千代吉氏）……推せんに決定
- 人権擁護委員の候補者の推せん（米倉弘氏）……推せんに決定

■……各委員会が行なった報告……■

- 予算特別委員会付託事件の審査の結果報告
- 条例　〃　〃

■……閉会中継続審査となった案件……■

- 昭和54年度公営企業市立稚内病院事業会計決算認定
- 〃　〃　稚内市水道事業会計決算認定

■……議員提出議案……■

- 議員の海外巡遣（北方圏諸国の都市、矢木議員・長野議員）……可決
- 議員の海外巡遣（サハリンへ友好親善のため、井田副議長・岩泉議員）……可決
- 金大中氏ら救出の緊急措置を要望する決議（市政ク、自由ク、公明党反対）……否決

人口と世帯

人口……53,971
男……26,620
女……27,351
世帯……17,937
（55年10月１日現在）

編集委員会から

●「市議会だより」第14号をお届けします。

ことしの夏の最高気温は、稚内気象台の公表では、25度にしかならなかったようです。まさに冷夏です。

●もう暖房を入れなければならない当市にとって、灯油の価格が身にしみる11月になりました。

●秋の夜長に、テレビから脱して読書に親しむ日が何日かあってもいいと思います。

●「市議会だより」についてのご意見、ご感想をお寄せ下さい。